

進化しつづける歯科用CT

いまや開業のタイミングで導入を検討される先生も増えてきた歯科用CT(※)。

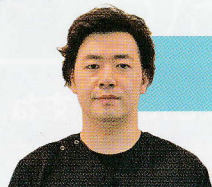
先生方のニーズに応じて選択肢も増えてきましたが、その豊富さゆえ将来的な拡張性などを考えると機種選びに迷われてしまうケースも少なくないかもしれません。

今回、CTを活用されている先生方に、機種選定のポイントや今後の展望について伺ってきました。

CTの導入を検討されている先生方にとって、何かご参考になるものがあれば幸いです。

※歯科用デジタルパノラマ・セファロ・CT X線装置

● Interview-1



下北沢タウンホール前歯科・矯正歯科

(東京都世田谷区で開業)

理事長 酒井 崇充 先生

CT 撮影から治療計画の立案までの流れがとてもスムーズになりました。

東京都世田谷区、下北沢駅から徒歩からほど近い場所にある **下北沢タウンホール前歯科・矯正歯科** 様。近隣に展開するもう1件の分院と共に一般歯科から矯正歯科まで対応しており、利便性の良さも手伝って遠方から訪れる患者さんも数多くいらっしゃるそうです。

今回は理事長の酒井崇充先生に、「ペラビューX800」の現在の活用状況や、患者さんの反応について伺ってきました。

より正確な診査診断が可能になりました

以前は2Dデジタルレントゲンを使用していましたが、インプラントをはじめとする外科処置の増加に伴い、より精度の高い画像データの必要性を感じたため、CT導入に至りました。「ペラビューX800」に決めた理由は、CT画像はもちろん、パノラマ画像も口腔内全域にわたって焦点が合い、非常に鮮明で見やすかったからです。導入して1年少しが経ちましたが、例えば智歯の状態もパノラマスカウトによりピンポイントで確認できるなど、今まで以上に正確に診査診断できる症例が増えました。

また、外部にCTを撮影しに行く手間がなくなったのも良かった点です。撮影から治療計画の立案までがスムーズになり、患者さんにも喜ばれています。

CT撮影後はチェアサイドで画像を見ながら口腔内の状態や治療の進め方についてご説明しています。自分の口腔内を立体的な視覚情報として見ることで、言葉で説明するよりも前向きに治療に取り組んでいただけるように思います。

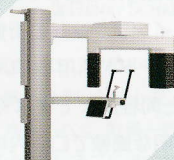


「自院でCT撮影できることで、患者さんにも喜ばれ、治療の効率もアップしました。」(酒井理事長)

若手勤務医にもCTの経験を積んでもらいたい

当院には勤務医も多く在籍しているのですが、若手の先生と症例を検討する際にも高画質なデータは有用だと思います。例えば、インプラント埋入深度や歯根捻転のリスクを考慮した矯正治療などにおいて、画像の細かい部分までしっかりと把握できるので、一緒に確認しながら、より適切なアドバイスができるようになりました。彼らが将来独立した時のためにもできるだけ多くの経験を積んでほしいと思っているので、CTを活用して幅広い症例に対応できるようになってくれると嬉しいですね。

私がCTの導入時に一番意識したことは、導入する目的を明確にし、自分自身のスキルアップを怠らないことです。今ではCTはインプラントを始めとした外科処置の診査診断に無くてはならない存在になっていますが、それに伴って自分の知識や技術も向上させる必要があると思います。これからも患者さんに質の高い医療を提供するために、CTを活用していきたいです。



ペラビューX800

株式会社モリタ / 9,600,000円～(税別)
医療機器認証番号 228ACBZX00008000